

ぶらっと 柏 ひんぽ

第6回 高柳駅から歩く

このコーナーでは、広報紙担当の職員が柏市内のさまざまな場所を実際に歩いて気が付いた、珍しいものや歴史的なものなどを紹介します。新たな魅力探しに、健康づくりに、あなたも「柏さんぽ」してみませんか？

図広報広聴課 ☎7167-1175



◀詳しい地図はこちら

今号で取り上げられなかったスポットも掲載



木陰でベンチのある休憩スポット

① 地元民なら誰もが知るユニークな屋根

電車で柏方面に向かうと、ひととき目を引く「つぎはさかさい」の屋根。家主によると自宅の屋根を塗装するとき、目立つものにしようと思い付いたそうです

② そびえ立つ巨大ロボ!?

駅前を歩いていくと、突如現れる電波塔群。周りに高い建物が少ないので、その迫りに圧倒されます

③ 高柳中の通用門横の「中島込遺跡碑」

この場所から縄文・平安時代の集落が発見されたことに始まり、その後この地域名が高柳字中島込から高南台へと移り変わった地域の歴史が刻まれています



④ 風が通り抜ける「こもれびの坂」

その名の通り木々の間からやさしく漏れる日の光。木陰なので涼しく心地よい風を感じられますよ

⑤ かいうちの森

こもれびの坂を覆うこの森は、地域の身近な緑地として親しまれています。木陰や丸太の腰掛けは、散歩の休憩スポットに利用されているようです

ぶらっカシ注目スポット

1 丸八観光果樹園にあるタヌキの石像

先代である渡来八右衛門さんの名前の「八」と、信楽焼で有名なタヌキの置物が持つ徳利に書かれた「まる八(丸の中に八)」からヒントを得て、今の果樹園名を命名したのだそうです。それ以来、タヌキが会社のシンボルになっていると、教えてくださいました。



2 姿を変えていく高柳駅

現在、線路の複線化と合わせて自由通路と橋上駅舎の工事も行っており、「自然と生活をつなぐ駅」として平成31年度中に完成される予定です。駅が変わっていく寂しさも感じますが、新しくなる高柳駅の完成も楽しみです。



3 文化財である富士塚

富士山を模して造られた人口の山や塚であり、全国各地にも見られるこの富士塚。ここは山頂まで約5メートルほどの高さですが、階段の途中も「一合目・二合目…」と思って登れば、富士登山した気分になれるかも!?



4 柏でも見られる田園風景

このスポットにやってくると、目の前には畑や田んぼの風景が一面に広がります。夏の田んぼには稲葉が青々と生い茂り、秋には稲穂が黄金に輝きます。これから収穫の時期を迎えるので、収穫の作業風景が見られるかもしれません。



広報紙担当のぶらっカシ体験記

豊かな自然と移り変わる高柳駅

高柳駅近くには閑静な住宅地が広がっていますが、駅東口を出て数分歩くと田園や森林などの自然であふれています。市内にあるどの駅よりも、近くに自然を感じられる場所があるのは、高柳地域の大きな魅力の一つです。

また、高柳駅では駅舎や自由通路が整備されていき、これから少しずつ駅が生まれ変わります。変貌を遂げる高柳駅と昔から変わらない自然豊かな風景を、ぜひ散歩を通して体験してみたいかがでしょうか。

次回(10月1日号)は

豊四季駅から歩く
お楽しみに!

